

第14節 学校図書館

1 概要

学校図書館が持つ「情報・資料センター」としての役割を重視し、多角的に経営しようとする動きが目だって来た。このため、「学校図書館の利用指導」及び「読書指導」について実践・研究する学校が多くなり、かなりの成果をおさめている。

しかし、こうした動きの反面には、学校図書館が努力しなければならない本来の業務・施設・設備・蔵書資料等の整備・充実に対して、力を省く傾向も見られ、学校図書館運営上の一つの問題点となっている。

また、図書館運営を効率的にしようとする立場から、司書及び司書教諭の配置を望む声も県内に高まっており、学校図書館法の改正を訴える動きも活発である。

2 第25回福島県学校図書館研究大会

(1) 趣旨

調和のとれた人間形成のために、学校図書館の果たす役割は大きい。そこで、福島県学校図書館協議会は学習センターとしての学校図書館のあり方、資料の組織化、運営の合理化等について研究に取り組み、教育課程の展開に寄与し、豊かな人間形成のために寄与したい。

(2) 研究主題

教育課程の展開に寄与す、豊かな人間形成のために学校図書館はいかにあるべきか。

(3) 主催 福島県学校図書館協議会 会津若松市教育委員会

- (4) 期 日 昭和49年10月29日～30日
 (5) 会 場 会津若松市立神指小学校
会津若松市立神指中学校
 (6) 講 師 福島大学教授 菅野 宏
 (7) 内 容

- ① 分科会テーマ
 ア、第1分科会 「学校図書館の管理と運用」
 イ、第2分科会 「読書指導」(小学校)
 ウ、第3分科会 「読書指導」(中学校・高等学校)
 エ、第4分科会 「学校図書館の利用指導」
 オ、第5分科会 「学校図書館における司書の役割」
 ② 全体会
 ア、講 評 義務教育課指導主事 大堀 敬之
 イ、講 演 「奥の細道について」
福島大学教授 菅野 宏

3 学校図書館研究協議会

(1) 目的

小学校、中学校及び高等学校の学校図書館運営に関する諸問題について研究協議し、教育課程の効果的な実施に資する。

(2) 主催 文部省

(3) 期 日 昭和49年11月20日～21日 2日間

(4) 会 場 オリピック記念青少年総合センター

(5) 参加者

伊達郡桑折町立睦合小学校長 佐藤 弘
 福島市立福島第三中学校教諭 松 潤 四郎
 福島県立会津高等学校教諭 長 嶋 恒 義

第15節 教育研究団体

1 福島県公立幼稚園教育研究会

(1) 財政及び組織の状況

役職名	氏 名	在 勤 校	会員数	昭和49年度決算額	左のうち県費補助額
会 長	設 楽 貞 夫	福島市立清明幼稚園	660人 (決算見込額) 584,000円		200,000円
副会長	原 則 文	猪苗代町立猪苗代幼稚園			
同 事	和 地 謙	郡山市立安子島幼稚園			
監 事	白 岩 重 夫	都路村立古道幼稚園			
同 事	武 藤 成 能	喜多方市立第一幼稚園			
理 事	遠 藤 善 一 郎	霊山町立石田幼稚園			
同 事	竹 内 央 央	鏡石町立鏡石幼稚園			
同 事	円 谷 泰 秋	泉崎村立泉崎幼稚園			
同 事	佐 藤 文 美	下郷町立下郷幼稚園			
同 事	高 木 良 枝	檜葉町立檜葉幼稚園			
同 事	米 本 恒 久	いわき市立すずかけ幼稚園			
委 員	渡 辺 政 三(福島二幼)	遠 藤 愛 子(飯 坂 幼)			
同 事	遠 藤 善 一 郎(石 田 幼)	吉 田 ノ ブ(川 俣 幼)			
同 事	尾 形 智 秀(上川崎幼)	今 村 節 子(東和・針道分園)			